

紫の物語 ～千年のいのちを千年後の未来に～

大津にゆかりの源氏物語を主題にして自然環境保全と文化の融合発信拠点として大津を位置づけた、観光メッセージ等の構築を図るもの

主催：紫の道の会

事業概要：

「石場駅」前の花壇をスタートして、なぎさ公園「打出の森」までのルートを「紫の道」と位置づけ、紫色や源氏にちなんだ草花で彩りを沿え、「びわ湖ホール」や平成 21 年 4 月オープンした「打出の森オープンカフェ」へ誘（いざな）うと共に、紫式部とゆかりのある「打出浜」に源氏物語にちなんだ草花を主とした「源氏平安花壇（仮称）」を造り、日本古来の植物や大津の歴史と文化への関心を深めてもらう契機とする。

「なぎさ公園「打出の森」にある「びわ湖ホール」北側において、源氏物語と関わりのある文様を象った花壇を設ける。また、「石場駅」から「打出の森」までの沿道には、地域の協力を得て紫の草花を植栽し、紫の道を作る。

また、事業の主旨をより多くの人に伝えるため、ミニシンポジウムの開催や花壇の説明等をまとめた小冊子を作成する。

紫募金「みんなで残そう源氏物語の草花」趣旨に賛同する人たちから募金を募り、今後のメンテナンスなどの費用にいかしていく。



昨年の「源氏物語千年紀」の成果を形に残すという理念の下、環境と観光+文化を組み合わせた取り組みは、大津の魅力を全国に発信する絶好の機会となり得ると考えた企画である。また、オープンカフェが開業する打出の浜での取り組みは、中心市街地区域での賑わいの創出を図るとともに、なぎさ公園の拠点を点から線へ、そして膳所エリアから浜大津までの面として広がりを持たせるものである。

月 次 計 画	5月	源氏花壇設置位置の検討 事業実施開始の広報 パワーアップ事業申請書類作成提出 紫草、藤袴などのプロジェクトとの連携開始
	6月	植栽計画確定 ミニシンポジウム内容の確定 園芸講座の開催（式部の庭にて） 計画と広報
	7月	シンポジウム広報開始 「紫基金」内容計画策定
	8月	「紫募金」開始 「源氏物語と環境（仮題）」取材開始 花壇の準備など記録（ビデオなど）
	9月	花壇設置（土壌改良・植栽） 刈込・水やり・除草などのメンテナンス、記録（撮影） 生物多様性と源氏物語等をテーマにしたミニシンポジウムの開催
	10月	水やり・除草などのメンテナンス 記録（撮影）
	11月	刈込・水やり・除草などのメンテナンス 記録（撮影） 園芸教室
	12月	水やり・除草などのメンテナンス 記録（撮影）
	1月	刈込・水やり・除草などのメンテナンス 記録（撮影） 「源氏物語と環境（仮題）」取材・編集
	2月	寒肥・水やり・除草などのメンテナンス 「源氏物語と環境（仮題）」編集
	3月	水やり・除草などのメンテナンス 「源氏物語と環境（仮題）」発行・配布・設置
	備考	植物の状況によりメンテナンス内容は変更になる場合があります。